

南アフリカ 今年の柑橘類は量より価値を最大化

FreshPlaza 2023年4月21日

南部アフリカの柑橘類の出荷量は増加傾向が続いており、2019年の1億2,720万箱(15kg/箱)に対し、今年は今時点で1億6,600万箱以上と推定されている。柑橘類生産者らは持続可能であることを迫られており、今シーズンの主な焦点は、適切な品物を適切な市場に確実に出荷し、大幅に高騰した投入コストを補えるだけの価格を取り戻すことである。業界のある専門家は、「価値を最大化するために、サイズ、入数、色、品質によって市場に投入するものを選ぶことになる」と言う。

南アフリカの柑橘類の半分近くは、国の北部の複数の州で栽培されている。センウェス農協管内(リンポポ州のグローブラスダル町及びマーブルホール町)では降雹と高温の結果としてネーブルの出荷量が減少するが、バレンシアは増加が見込まれている。昨年、この地域は3,700万箱弱のバレンシアを出荷した。

ソフト柑橘類の輸出予測はまだ確定していないが、センウェス農協管内からのソフト柑橘類の大幅な増加が見込まれ、2019年の450万箱から2022年には1,170万箱に増加したが、今年はさらに500万箱も増加する可能性がある。西ケープ州のソフト柑橘類、特にボーランド地域の晩生マンダリンも昨年の約1,200万箱からおよそ150万箱増加すると見られる。東ケープ州の出荷量は、昨年大幅に増加して4,860万箱に達し、今年もおおむね同様のようだが、ガムトスバレー地域の水不足は続いている。

ダーバン港の冷蔵倉庫はEUの要件に準拠するよう求められる

オレンジに関するEUの冷却要件の影響は、陸地側すなわち(船積み前の)冷蔵倉庫での対応が容易でないことが広く知られている。特にシステムの大規模なボトルネックとなることを回避するために、冷蔵倉庫でできるだけ早くオレンジを2℃に冷やす必要があるダーバン港では対応が難しい。約5千コンテナが(隣国モザンビークの)マプート港から出荷されると推定されており(ただし、冷却要件に従っていない)、ダーバン港への圧力が軽減されることが期待されている。ケープタウン港及び東ケープ州のポートエリザベス港とングクラ港では、ダーバン港と比較して処理する柑橘類の量が大幅に少ないため、冷蔵倉庫の容量に余裕がある。

執筆者: キャロライズ・ヤンセン

世界の海上コンテナ運賃総合指数は4%上昇

FreshPlaza 2023年4月21日

ドリュエリー(Drewry)社の世界コンテナ運賃指数(WCI)の総合指数は今週4%増加して40フィートコンテナ(FEU)当たり1,773.58ドルとなり、15週間ぶりの上昇となった。2023年4月20日木曜日のドリュエリー社の詳細な分析によると、複合指数は今週4%上昇したが、昨年と同じ週と比較すると77%低下した。

FEU当たり1,774ドルとなる最新のWCI複合指数は、ピークであった2021年9月の10,377ドルを83%下回っている。10年平均の2,688ドルより34%低く、より通常の価格に戻っていることを示しているが、依然として2019年(パンデミック前)の平均である1,420ドルよりも25%高い。

総合指数は4%増加してFEU当たり1,773.58ドルとなったが、2022年の同じ週より77%低い。太平洋横断の東行き運賃は、複数の海運会社を実施した4月中旬からの運賃の一斉値上げを反映して上昇した。上海 - ニューヨークの運賃は、12%(297ドル)上昇し、同2,849ドルとなった。上海 - ロサンゼルスへの運賃は11%(182ドル)上昇し、同1,856ドルとなった。上海 - ジェノバは1%微増の同2,268ドルとなった。

ニューヨーク - ロッテルダムへの運賃は5%下落し、FEU当たり969ドルとなった。ロッテルダム - 上海とロサンゼルス - 上海の運賃は、それぞれ4%下落して同618ドル及び1,009ドルとなった。ロッテルダム - ニューヨークの運賃は19週連続で下落し、直近1週間では1%低下して同4,881ドルとなった。上海 - ロッテルダムへの運賃は前週の水準付近で推移した。ドリュエリー社は、大西洋横断以外の東西航路のスポット運賃が今後数週間で上昇すると予想している。

出典: [drewry.co.uk](https://www.drewry.co.uk)